

新たな障害者スポーツセンター整備基本計画(案)
に対する市民意見の内容及び市の考え方

令和5年3月

名古屋市

「新たな障害者スポーツセンター整備基本計画（案）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。

なお、ご意見の内容は、一部要約するとともに、趣旨の類似するものをまとめ、項目別に分割して掲載しておりますのでご了承ください。

1 意見募集期間

令和5年1月10日（火）から令和5年2月9日（木）

2 意見提出状況

提出方法	電子メール	ファックス	郵送	直接持参	合 計
提出者数	5名	5名	0名	0名	10名
件 数	21件	13件	0件	0件	34件

3 意見の内訳

項 目	意見数
(1) 整備方針について	11件
(2) 整備の進め方について	9件
(3) 障害者スポーツの推進体制について	7件
(4) 交通アクセス・周辺環境について	6件
(5) その他	1件
合 計	34件

新たな障害者スポーツセンター整備基本計画（案）に対する 主な市民意見の内容及び市の考え方

（1）整備方針について（11件）

【市民意見の概要】

- ・難病患者にとってスポーツは「楽しむ」「みんなで集まれる機会」などに加え、「病状の進行を遅らせる」というリハビリテーション的な役割もあるため、位置づけ・コンセプトの中に明記して欲しい。

【市の考え方】

新たな障害者スポーツセンターの整備にあたっては、リハビリテーションの観点も含めてコンセプト等を掲げさせていただいております。

【市民意見の概要】

- ・難病患者も含めた障害者のスポーツをサポートする相談窓口も設置して欲しい。
- ・障がいのある方もない方も共に交流し、そのことによってわかりあえる関係性が作れるセンターになるような内容に是非して欲しい。
- ・知的障害の方たちが安全に利用できる「歩行エリア」を整備して欲しい。
- ・常設のカームダウン室の整備に賛成。設備とともに人材も育成して欲しい。災害時の指定避難所となる施設とすることも賛成。福祉的な機能を持った避難所としての活用を検討して欲しい。新しいスポーツや様々なニーズに対応できるよう複数の多目的室も設置するなど、柔軟な運用を考えて欲しい。
- ・視覚障害者からの問い合わせに適切に対応できるよう、説明、館内誘導の体制を整えて欲しい。福祉都市環境整備指針をしっかりと踏まえた設計にして欲しい。
- ・体育室について、客席は少なくとも2方向として、LEDでの電光表示や映像撮影機器の導入などICT化、デジタル化を進めて欲しい。またボッチャなどのユニバーサルスポーツの競技人口が増えているため、多目的室を整備し柔軟な運用をして欲しい。
- ・人権問題を考え、広くノーマライゼーションを浸透させ、明るく住みやすい名古屋市・西区にする足掛かりとして、特に子どもたちの道徳心や優しさを養う環境づくりに大変有効だと思う。名古屋駅からも近い新たな障害者スポーツセンターをより多くの利用者で素晴らしい施設、ユニバーサルスポーツ拠点として設置・運用されるよう希望・期待する。

【市の考え方】

障害のある方が安心して気軽にスポーツを楽しむことができるとともに、障害の有無に関わらず交流が育まれるよう、地域に根差した温かみのあるセンターとなるよう、整備を進めてまいります。

【市民意見の概要】

- ・指定避難所とするのであれば、プールは地上階か地下階に整備し、フェールセーフ・二重安全を施した施設にして欲しい。

【市の考え方】

誰もが安心安全に利用できる施設づくりのため、諸室等の配置につきましては、様々なご意見を踏まえ総合的に検討してまいります。

【市民意見の概要】

- ・近隣の榎小学校は校庭が狭く、榎公園との境が「樹脂ネット」という市内で例を見ないもので、プールも道路を隔てた離れ地にあるため、教育委員会・土木事務所等と協議を行い、共用可能な施設は共用することで「SDGs」や「ノーマライゼーション」に繋げて欲しい。

【市の考え方】

施設の有効活用の観点から、関係機関との連携についても検討してまいります。

【市民意見の概要】

- ・フィールド・トラックで実施する陸上競技は、新たな障害者スポーツセンターでは実施出来ないため、専用のパラ陸上競技場をこの近くに設置して欲しい。

【市の考え方】

施設についての情報提供を行うなど、障害のある方もない方も共に身近な地域でスポーツに親しんでいただけるよう努めてまいります。

(2) 整備の進め方について（9件）

【市民意見の概要】

- ・パブリックコメントについて、概要版ではなく基本計画全体を示して欲しい。

【市の考え方】

当計画のパブリックコメントにつきましては、名古屋市パブリックコメント制度要綱に基づいて実施したところであり、検討段階のものが含まれていることから、その概要により実施させていただいたところです。

【市民意見の概要】

- ・一般のスポーツ施設等で実施しづらい電動車いすサッカーやボッチャ等を楽しめる施設・設備が必要だと思う。そのためにも障害当事者の意見を取り入れた設計とされることを期待します。
- ・計画策定に際して、当事者の意見を反映したものにして欲しい。
- ・もう少し早く計画案を教えてもらいたかった。
- ・整備手法は直営が望ましく実際に利用する障害者の意見を計画、運営に反映すること、また地域住民の意向も踏まえ地域に親しまれる施設とすることが大切である。そのため、特定の団体、組織に偏ることなく多様性に富んだ市民意見を反映して整備をすすめて欲しい。
- ・多目的室、会議室等の予約は、視覚障害者については電話予約のみで予約できるようにして欲しい。
- ・建物ができたタイミングや、内部の細かな工事が始まるまでの間、視覚障害者が意見を述べるとともに、それが反映できるタイミングで内覧会及び意見聴取をして欲しい。
- ・難病患者の中には、日光や紫外線に当たることができない人もいるため、開放的な施設は悪いことではないが体育室やプール等、施設の紫外線対策を検討して欲しい。
- ・建物内の詳細や施設の配置については、地元地域の意見聴取を行い、丁寧に説明をして欲しい。

【市の考え方】

新たな障害者スポーツセンターの整備にあたりましては、ご利用されるみなさまが様々なスポーツに取り組んでいただくことができるよう、また地域に根差した施設となるよう、引き続き障害当事者、障害者団体、地域の皆様等のご意見を伺いながら整備を進めてまいります。

(3) 障害者スポーツの推進体制について（7件）

【市民意見の概要】

- ・障がい者スポーツ指導員という表現に、指導する側、指導受ける側とのイメージを感じ、違和感があるため、「寄り添う」「サポートする」ことが分かるようなネーミングを考えて欲しい。

【市の考え方】

障がい者スポーツ指導員という呼称は、公益財団法人日本パラスポーツ協会が認定する障がい者スポーツ指導者資格であるため、本市で呼称を変更することは困難ですので、ご理解ください。

なお、令和5年4月よりパラスポーツ指導員に名称が変更されることとなっております。

【市民意見の概要】

- ・サポートしていただける人はボランティア（無償）でなく、公共の人的配置として欲しい
- ・障害特性を理解した上でサポートいただける人材の育成をして欲しい。
- ・各スポーツセンターにおいても、障害のある人もない人も、ともに利用できるよう、人員の配置や研修など、スタッフの充実を図ってもらえたら嬉しい。

【市の考え方】

運営にあたっては様々な障害当事者への対応のため、職員に限らずボランティアの方にご協力をいただいているところです。職員の配置については、引き続き適正な人員配置に努めてまいります。

また現在、障がい者スポーツ指導員の養成を行い、様々な障害特性を理解した人材の育成に取り組んでいるほか、各スポーツセンターの管理者に対して研修を行っているところです。

引き続き、障害者スポーツを支える人材の育成に努めるとともに、障害の有無に関わらず、身近な地域でスポーツに親しんでいただけるよう努めてまいります。

【市民意見の概要】

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンターにある福祉スポーツセンターも拠点となる施設であることから、それぞれの特徴を活かしながら3館を障害者スポーツの拠点として位置付けたらどうか。そして、スポーツ推進計画とは別に「障害者スポーツ振興計画（仮称）」を策定して欲しい。
- ・現在と新たな障害者スポーツセンターの2館を障害者スポーツ振興の拠点とするという理念を今後も貫いて欲しい。

【市の考え方】

様々な施設の特徴を活かしながら、現在及び新たな障害者スポーツセンターの2館を本市の障害者スポーツ振興の拠点として、障害のある方がスポーツに親しめるように努めてまいります。

また、障害者スポーツにつきましては、国のスポーツ基本計画を踏まえ、共生社会の観点から、「名古屋市スポーツ推進計画」において一体的に推進してまいります。

【市民意見の概要】

- ・障害者がなかなか取組むことが難しいスポーツにも参加を促すことができるような取組みを企画して欲しい。特にアジア・アジアパラ競技大会をきっかけとして、武道などの日本特有のスポーツへの指導、支援も考えて欲しい。

【市の考え方】

障害のある方が障害者スポーツセンターにおいてスポーツを楽しみ、運動の仕方を学ぶことでスポーツに親しむきっかけを提供するとともに、障害の有無に関わらず交流が育まれる地域に根差した温かみのあるセンターとなるよう、今後、事業についても検討してまいります。

(4) 交通アクセス・周辺環境について（6件）

【市民意見の概要】

- ・地下鉄浅間町駅のエレベーターの位置が遠く、名古屋駅からのバスの本数も少ない。
- ・公共交通機関から連続的に視覚障害者誘導用ブロックを敷設して欲しい。市バスアナウンスにより地域の方々に施設の存在を知ってもらえるような工夫をして欲しい。また、警察等と連携し、音響信号機、エスコートゾーンを整備して欲しい。
- ・低床のバリアフリー・リフト車両を運行し、福祉バスも運行する必要があると考える。また周辺の歩道の一部をパラ優先レーン（仮称）として整備し、シェルター状の降雨対策を施す等の整備を行って欲しい。

【市の考え方】

施設利用者のアクセス性向上については、交通事業者や道路管理者などと今後、協議を進めてまいりたいと考えております。

【市民意見の概要】

- ・押切交差点は水がつきやすく、周辺マンション、建物に常に土のうが準備されており、この解決をお願いしたい。

【市の考え方】

新たな障害者スポーツセンターは災害時には避難所となる施設としていくことを検討しており、浸水によりその機能を喪失しないよう、過去の災害時の状況を踏まえ、整備を進めてまいりたいと考えております。

【市民意見の概要】

- ・整備予定地の周辺は道路幅も狭く、小学校、保育園もあることを配慮した設計として欲しい。

【市の考え方】

整備にあたっては、周辺地域への影響を低減させるため、施設利用者の自動車を滞留させないようにするほか、日照・通風・騒音などについて、住環境に配慮した施設配置としてまいります。

【市民意見の概要】

- ・駐車場について、車いす利用者や移動制約のある方々に十分配慮した設計をして欲しい。また周辺道路幅が狭いため、710番（離れ地）を立体駐車場にして、収容台数を確保して欲しい。

【市の考え方】

駐車場については、利用者に配慮した配置や台数の確保を検討してまいります。なお、710番の利用方法については検討を行いました。敷地の広さから立体駐車場の設置は困難なため、平面駐車場での利用を検討しております。

(5) その他（１件）

【市民意見の概要】

- ・将来、障害の有無に関わらず共生社会が当たり前となる時代に向け、施設の名称として「ユニバーサル・スポーツセンター」など、「も～やっこ」の西区に相応しい施設となるとよい。

【市の考え方】

障害のある方が安心して気軽にスポーツを楽しむことができ、また交流が育まれる、地域に根差した温かみのある施設として、誰もが利用しやすいよう、施設の愛称等についても検討してまいります。